

令和6年度第1回東海市産業推進会議 会議録

1 日 時 令和6年（2024年）8月29日（木）

午後3時から午後4時10分まで

2 場 所 東海市役所 603会議室（6階）

3 出席者

(1) 委員（敬称略）

野村 淳一、浅井 良隆、大西 彰、小笠原 潤、野口 剛規、鈴木 利泰、
神野 博

(2) 事務局 小笠原 環境経済部長、芦原 商工労政課長

下村 商工労政課統括主任、磯谷 商工労政課主任

4 議 題 別紙次第のとおり

5 公開、非公開の別 公開

6 傍聴者の数 0人

7 会議内容

(1) あいさつ【次第 1】

小笠原環境経済部長からあいさつ。

(2) 自己紹介【次第 2】

名簿順に自己紹介。

(3) 議題

ア 産業振興ビジョンについて【3-(1)】

事務局から資料に基づき、説明。

イ 施策評価シートについて【3-(2)】

事務局から資料に基づき、説明を行い、その後、質疑応答を行った。

野口委員： 推進項目1の（4）主な取り組みの中で、令和5年度に実施したキャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンについて項目がないが、追記してはどうか。

事務局： 小売・飲食など幅広い分野で消費を創出誘引できるので商業など（第3次産業）の項目として追記する。

浅井委員： 令和5年度のいつの時期にキャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンを行ったのか。

事務局： 令和5年度は、10月と1月に1か月間のキャンペーンを2回実施した。

野村議長： その参加店舗数はどのくらいか。

事務局： PayPay、au PAY、d払い、楽天ペイの4つのキャリアで行い、令和5年1月の時点では参加店舗は956店舗。

浅井委員： このキャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンは、経済効果がかなり大きいと思われるが、指標1について小売業の売上増加はなかったのか。指標では減少となっている。

事務局： 経済効果は大きく、令和5年度については、約12億円の消費喚起が生まれた。

また、指標1について、東海商工会議所会員に対しての数値のため、市内全体の数値が反映されていない。

浅井委員： 指標4について、出荷額が減少しているが、東海市の地域特産品に力を入れてはどうか。

事務局： 特産物のフキについて、生産者の高齢化で事業継承できていないこともひとつの課題となっている。

野口委員： 参考資料のふるさと納税の品目数について、毎年増加しているのか。東海市の地域特産品は品目に入っているのか。

事務局： 每年品目数は増加している。令和5年度末の時点で95品目だった。

野村議長： ふるさと納税の出品について、希望すればどの事業者も出品できるのか。

事務局： 出品するための基準・条件を満たしていれば出品できる。品目数を増やすために企業訪問に行った際、出品についての説明を行っている。

野村議長： ふるさと納税に地域特産物を出品し、東海市をPRしてはどうか。資料を確認すると、みかんが出品されている。

事務局： みかんは加工品も多く取り扱っている。出荷時期が限定的なフキなどは通常出荷もあるため、安定的に出荷できる品目がふるさと納税の対

象になってくる。

鈴木委員：企業立地交付金について、市内に物流倉庫が多く建設され始めている。工場などの製造業の誘致に力を入れた方がよいのではないか。

事務局：企業立地交付金は、製造業に対して交付している。

民間企業が土地を整備し、その土地に企業が参入している状況。

野村議長：推進項目2指標1について、従業員数が適正であると回答した事業所の割合について、もっと多くの事業者が適正でないと感じていると思った。

鈴木委員：全体的に人材不足が表れている。当信用金庫の取引のある企業（建築業）では、研修生、幹部候補生の建築業に限定した人材確保を積極的に行っている。重機を扱うなど人材が限定期的であり、トラック運送についても労働基準法の規制が厳しくなったため、なかなか人材が集まらないと聞いている。

小笠原委員：建設、介護、運輸、保育分野の人材不足はかなり深刻である。しかし、企業側は誰でもいいわけではない。働く側も条件があり、どこでもいいわけではない。企業と働き手とのニーズのアンマッチが多くある。

最近は、ハローワーク以外に、民間の求人サイトを利用する方が増えてきている。知多半島はハローワーク半田が愛知県の中でも多くの方が訪れており、もっと企業と働き手をすり合わせていきたい。

浅井委員：前年度に従業員が不足と答えた業種はどのような業種だったか。建設業が特に不足しているのか。機械化が進んでいるため製造業の人手不足は解消されているのか。

野村議長：昨年度の施策評価シートによると、建設業、製造業、卸売業の50%が人材不足と答えている。

野村議長：指標2の小規模企業等振興資金の融資状況について、小売業の融資金額がなぜ伸びているのか。

事務局：今まででは、コロナ関連の融資が多く利用されていた。その制度がなくなり、小売業の特に飲食関係が小規模企業等振興資金の申請が多くなった傾向がある。

浅井委員：推進項目3指標1について、データが取れないために、参考資料の4

項目が指標 1 に代わるのか。

事務局： 産業振興ビジョンの指標について、計画期間中は改定できないなか、指標 1 のデータが集められないため、補足資料としてこの 4 項目のデータを集めていきたいと考えている。また、補足資料を充実させることで、次の計画の資料として利用できるかも検討していく。

浅井委員： 指標 2 と指標 3 はそのまま見ていくとのことか。

事務局： その通り。

小笠原委員： 若者についての指標は検討しているか。「ユースエール認定」が参考になるので追加検討をしてはどうか。

事務局： 次回に向けて検討する。

野口委員： 指標 2 について、平成 30 年から女性の就職数が減ってきており、近年、女性進出に前向きになっているのに対し、減少しているのはなぜか。

事務局： この数字は、ハローワーク半田に就職の相談し、就職した女性の数になっている。母数が減っている可能性もあるため、確認する。

小笠原委員： 特に女性就職相談者のハローワーク離れが増えているため、母数が減ってきており、繰り返しになるが、民間の就職サイトを利用して就職活動を行っている方が増えてきている。

野口委員： その理由であれば、指標 2 のコメントの内容を変更すべき。

事務局： 修正する。

野村議長： この指標のプラスの意味で、高齢者、障害者の就職数が増えてきているのでそのコメントに変えてはどうか。

事務局： 確認し修正する。

野村議長： 指標 3 について、上手に PR できたのではないか。主な取り組み内容、地域職業相談室の企業 PR コーナーにおいての PR した事業所数が指標 3 と関連できたらより良いのではないか。

小笠原委員： 地域職業相談室は、知多半島に東海市以外では常滑市、知多市に設置している。東海市は毎月 300 件以上の相談があり、毎月 30 件以上の就職者がおり、他地区に比べて認知度が非常に高いと思われる。

野村議長： 推進項目 4 指標 2 と指標 4 について、観光者は順調に伸びている。

事務局： 観光客も増えてきており、ホテルの利用率は高くなっている。

鈴木委員： 鉄鋼会社の高炉の改修及び熱延工場の新設などで、一時的にホテル利用が多くなっている。その工事が終了した時、ホテル利用がどうなるか考えないといけない。

野口委員： 観光のにぎわいについて、東海市来訪者にどれだけ地域で消費喚起するかを検討しなければならない。大きなイベントではキッチンカーを配置し多くの方が利用している。また、イベント参加者にクーポンを配布し、東海市内の店舗に結び付けてほしい。

浅井委員： 指標3の創業者数について、自身が毎月第4木曜日創業相談を行っている。市外の方が東海市内で創業したいとの声が多い。しかし、東海市内では、物件が大きい、古い等の条件が合わない物件のため創業ができない状況が続いている。

創業に関する持続化補助金が今年度で終了との情報がある。創業相談をすることで補助金の対象となるが、補助金の終了により令和7年度は相談件数が減る可能性がある。

現在の相談内容は、建設系、美容系の方は機械購入したい、倉庫業を創業したいが場所がないなどがある。東海市は創業するにも場所がなく、常滑市など他の市町にて創業しようかと悩まれる方もいる。

創業者は新型コロナウイルス感染症の影響を受け始めてから増え続けている。今後、創業者をどう伸ばしていくかが重要となる。

(4) その他【次第 4】

特になし

令和6年度（2024年度）第1回東海市産業推進会議 次第

日時：令和6年（2024年）8月29日（木）

午後3時～

場所：東海市役所603会議室（市庁舎6階）

1 あいさつ

2 自己紹介、議長あいさつ

3 議題

(1) 産業振興ビジョンについて

(2) 施策評価シートについて

4 その他